

令和8年9月18日

令和7年度社会参加活躍支援等孤独・孤立対策関連事業
(個別支援事業)の事後評価について

こまつくらし安心ネットワーク協議会において、令和7年度の事業(小松市発達支援センター事業)の取り組みについて委員から意見を求め、事後評価を行った。

1. こまつくらし安心ネットワーク協議会

開催日時: 令和8年8月19日(水) 13:30~14:45

主 催: 小松市

参加委員: 市医師会、人権擁護委員協議会、社会福祉協議会、市教育・保育協議会、
校下女性協議会、民生委員児童委員協議会、警察署、保健所、県中央児童
相談所、高齢者総合相談支援センター、障害福祉事業所

意 見: とくになし

2. 事後評価

本事業を開始するまでは、大人の発達支援をメインとした相談窓口がなく、原因が分からないまま長期間ひきこもり、孤独・孤立化し悩んでいる人、とくに就職氷河期世代といわれる中高年世代は、どこに相談にいったらいいのか分からないという状況であった。

本事業の立ち上げにあたり、広報紙やホームページ、SNSなどの各種メディアを通じて、広く相談窓口の周知を図ったところ、多くの問い合わせがあり、実際に相談に繋がっており、事業の実施については評価ができ、今後も継続して事業を実施する。

今後は、相談に繋がった要支援者に寄り添い、発達障がいという特性に応じた支援を続け、一人でも多く社会参加に繋がるよう事業の充実を図っていく。